

ルール改正〈靴底の厚さ〉の確認

長崎陸上競技協会

2020年12月1日より世界陸上競技連盟(WA)の規則(TR5.2)が規定するシューズについて、競技会にて使用できるシューズの靴底の厚さは下記の通りとなりました。各学校において規定内のシューズを履いて出場するように指導、確認をお願いします。

種 目	靴底の最大の厚さ (TR5.5、TR5.13.3)
フィールド種目(除:三段跳)	20mm
三段跳	25mm
トラック種目(ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm
トラック種目(800m以上の種目)	25mm
クロスカントリー	25mm
道路競技(競走、競歩)	40mm

※この規定のシューズ以外で出場した場合は、失格となります。

【以下のケースがルールに抵触し、失格になる可能性があるので参考にして下さい】

＜ケース1＞

・短距離の選手が試合に出場しようとしたが、短距離用のスパイクシューズを忘れてアップシューズ(ランニングシューズ)でレースに出場としている。

＜ケース2＞

・中長距離の選手が試合に出場しようとしたが、長距離用スパイクシューズを忘れてアップシューズ(ランニングシューズ)でレースに出場しようとしている。

＜ケース3＞

・砲丸投げに出場する選手がスローシューズ(投てき用シューズ)を持っておらず、アップシューズ(ランニングシューズ)で出場としている。

アップシューズ(ランニングシューズ)は靴底が厚いケースが多く、実際計測してみると靴底の厚さが規定を超える厚さであることが多い。

対応策

1. 普段使用しているシューズの厚さを測定する。
※地面に立てた棒とシューズ内に立てた棒の差を測る など
2. 以下のサイトで規定内のシューズかどうかを確認する。
ゼビオ https://www.rakuten.ne.jp/gold/supersportsxebio/special/tf_shoes/
3. 投てき用シューズの代替えとして、体育館シューズの使用やデッキシューズ等の購入。 など